

アドビ、Adobe Firefly にクリエイティブ AI エージェントを導入、新たな生成 AI 機能とともに創造性の新時代を切り拓く

- アドビ独自のクリエイティブ AI エージェントを搭載した新しい「Adobe Firefly AI アシスタント」は、クリエイターが自分の言葉でクリエイティブ作成を指示できる機能。Adobe Creative Cloud アプリや生成 AI モデルを横断した単一の対話型インターフェイス上でアシスタント機能を利用でき、複雑で多段階にわたるワークフローを調整・実行
- Adobe Firefly は、スタジオ品質のオーディオ、高度なカラー調整、精密な画像編集といった機能を備え、動画や画像の編集を AI で支援するとともに、業界をリードする 30 以上のサードパーティ AI モデルにより、クリエイターにこれまで以上のコントロール、選択肢、柔軟性を提供
- これらの機能アップデートにより、Adobe Firefly はオールインワン型クリエイティブ AI スタジオの地位を確固たるものに。エージェント型制作プロセスの起点として業界トップクラスのクリエイティブ AI モデル、プロ仕様の編集ツール、そしてアドビのクリエイティブアプリのパワーと精度をすべて 1 か所に集約

※当資料は、2026 年 4 月 15 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2026 年 4 月 16 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、独自のクリエイティブ AI エージェントを搭載した「Adobe Firefly AI アシスタント」を発表しました。これにより、アドビのクリエイティブツールの機能が、単一の対話型インターフェイスに統合されます。オールインワンのクリエイティブ AI スタジオ「[Adobe Firefly](#)」で近日提供予定の「Adobe Firefly AI アシスタント」は、クリエイターが実現したい内容を自分の言葉で説明するだけで、Adobe Fireflyをはじめ、Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Lightroom、Adobe Express、

Adobe Illustrator など、Adobe Creative Cloud の各アプリを横断して、複雑かつ多段階にわたるワークフローをシームレスに調整・実行します。

これはクリエイティブ作業の進め方における根本的な変革であり、クリエイターはアシスタントに指示を出すことで望む成果を得られるようになります。クリエイターは時間と労力を節約しつつ、イメージと制作能力の乖離を解消できます。なお、アドビのエージェント型クリエイティビティへのアプローチでは、主導権はクリエイター側にあります。クリエイターがビジョンやクリエイティブの方向性を示し指示すると、アシスタントが調整と実行を行います。アドビは Adobe Firefly AI アシスタントのようなアシスタントとして機能する対話型の生成 AI の開発に投資してきており、今後さらなる拡張によってエージェント型クリエイティビティの新時代を牽引します。

アドビのクリエイティビティ & プロダクティビティ事業部門代表であるデイビッド ワドワーニ (David Wadhvani) は、次のように述べています。「アドビは、クリエイティブの在り方が大きく変わるエージェント型 AI 時代への移行をリードしています。その時代においては、作品をどのように形にするかをユーザー自身が主導し、その人ならではの視点や声、感性こそが最も強力なクリエイティブツールとなります。Adobe Firefly は最高水準の AI モデルと最もパワフルなツールを組み合わせた唯一無二の存在であり、さらに今回、アドビのすべてのクリエイティブアプリのパワーと精度を 1 か所に集約し、これまでにない新しい創作体験を提供します。」

さらに、Adobe Firefly の動画・画像の両エディターを大幅に拡張し、[Adobe Firefly 動画エディター](#)にはスタジオ品質のサウンド、高度なカラー調整、Adobe Stock との統合といった新機能を導入しました。また、「Precision Flow」や「AI マークアップ」といった新しい編集機能を Adobe Firefly 画像エディターに追加しました。Google の Nano Banana 2 や Veo 3.1、Runway の Gen-4.5、ElevenLabs の Multilingual v2 など Adobe Firefly が擁する 30 以上の業界[トップクラスのサードパーティ AI モデル](#)に、Kling 3.0 および Kling 3.0 Omni が新たに加わりました。これにより、クリエイターに、制作方法において比類のない選択肢と柔軟性を提供します。

これらの革新的な機能により、Adobe Firefly は決定的なオールインワン型クリエイティブ AI スタジオとしての地位を確固たるものとし、すべてのクリエイターに、アイデアを高品質なコンテンツへと完成させるまでのスピード、コントロール、そして創造的な自由を提供します。

Adobe Firefly AI アシスタント：アドビのアプリ全体を活用して創作を行う新しいアプローチ

Adobe Firefly AI アシスタントを使用すれば、クリエイターが実現したい内容を自分の言葉で説明するだけで、Adobe Photoshop、Adobe Firefly、Adobe Premiere、Adobe Express、Adobe Lightroom、Adobe Illustrator など複数のアプリを横断して、複雑かつ多段階にわたるワークフローの調整・実行を、単一の統合された対話型インターフェイス上で実現できます。このエージェント型クリエイティビティへの移行により、あらゆるレベルのクリエイターが、複数アプリを行き来したり手作業に頼ったりすることなく、スムーズに制作を始め、スピーディーに進められるようになります。その結果、制作プロセス全体もよりシンプルになります。またクリエイティブプロフェッショナルにとってはスピードに加え、高品質なクリエイティブ作業に必要なコントロール性と精度を維持させたまま、より複雑で多段階にわたるワークフローを俯瞰し、的確に指揮できるようになります。

まもなく Adobe Firefly アプリに登場予定の Adobe Firefly AI アシスタントには、以下の機能が含まれます。

- **単一の統合された対話型インターフェイス**：Adobe Firefly AI アシスタントは、Adobe Firefly に組み込まれた単一の対話型インターフェイスを使ったコンテンツ制作を実現します。クリエイターは作成したいクリエイティブを説明するだけで、アシスタントがワークフローを調整し、結果を提示するとともに、コンテキストや進行状況、これまでの判断をセッションをまたいで一貫して維持します。こうしたコンテキストは各アドビのアプリにもシームレスに引き継がれるため、ゼロからやり直す必要はありません。
- **クリエイターをサポートする AI アシスタント**：クリエイターが主導権を維持したまま、Adobe Firefly AI アシスタントが、コンテキストに応じた質問をしたり、決定事項を提示したり、提案を行います。クリエイターはいつでも介入して、出力を誘導、洗練、調整することができます。
- **事前構築クリエイティブスキル**：クリエイティブワークフローに特化し設計された「クリエイティブスキル」のライブラリが拡充されており、単一のプロンプトから複雑で多段階のタスクを実行できるようになります。さらにクリエイターは、一貫性のあるプリセットを使ってポートレート写真をレタッチしたり、ソーシャルメディア各チャンネル向けのコンテンツを生成したりする機能といったアドビが提供する既存のスキルの1つを利用したり、独自にカスタマイズすることもできます。

- **クリエイターごとにパーソナライズ**：Adobe Firefly AI アシスタントは、好みのツール、ワークフロー、美しさの基準などといった、クリエイターの好みを時間をかけて学習し、より一貫性のある、個々に最適化された成果を提供します。
- **アセットの認識とコンテキスト**：Adobe Firefly AI アシスタントは、画像、ビデオ、デザイン、ブランドアセットなど、作成中のコンテンツの内容を理解し、より関連性が高く、コンテキストに応じたアクションを実行できます。
- **Frame.io との統合によるレビューとその反映**：クリエイターが、Frame.io 内で作業を整理・共有するように指示すれば、AI アシスタントは関係者にレビューを依頼してフィードバックを行うことができます。AI アシスタントはフィードバックを解釈し、最適なツールを使用して自動的に変更を反映することで、レビュー段階から最終的なコンテンツの納品までのサイクルを大幅に短縮できます。

また、アドビは、Anthropic の Claude を含む主要なサードパーティ製 AI モデルにもこのアドビアプリを活用した新しい制作アプローチを導入し、クリエイターが日常的に作業している環境から直接、アドビアプリの優れた機能を利用できるようにします。

Anthropic の最高商務責任者であるポール スミス (Paul Smith) は次のように述べています。「すぐれたクリエイティブ作品は、思考と制作を行き来する中で生まれます。アドビとの協業により、クリエイターは Claude でプロジェクトを構想し、そのまま Adobe Firefly にアクセスし制作へと移せるような新しい方法を模索しています。これは、クリエイティブワークのあり方を大きく変える可能性を秘めています。」

アドビのエージェント型クリエイティビティに関するビジョンについては[こちら](#)、Adobe Firefly AI アシスタントについては[こちら](#)をご覧ください。

Adobe Firefly の新しい動画・画像エディターとパートナーモデルの拡充

直感的でマルチトラック対応の [Adobe Firefly 動画エディター](#) に以下の新機能が追加されました。

- **オーディオ機能の強化**：Adobe Premiere に搭載済みの「スピーチを強調」は、人間の話し声を自動的に明瞭化する、受賞歴のある機能で、Podcast クリエイターに愛用されています。この機能が Adobe Firefly 動画エディターでも利用可能になったほか、その他のオーディオ強化機能も追加されました。クリエイターは、わずか数回のクリックでノイズや残響を

低減し、会話、音楽、環境音のバランスを調整して、洗練されたサウンドに仕上げることができます。

- **カラー調整**：クリエイターは、Adobe Firefly 動画エディター内で露出、コントラスト、彩度、色温度などの主要な視覚要素を微調整できます。直感的なスライダーで各調整の強度を自由にコントロールできるほか、ワンクリックでプリセットを適用できるため、簡単に作業を開始できます。
- **Adobe Stock との統合**：クリエイターは Adobe Firefly 動画エディターのワークフロー内で直接、ビデオ、画像、オーディオ、効果音など 8 億点以上のライセンス済みアセットにアクセスできます。

また、Adobe Firefly 画像 エディターには以下の 2 つの強力な機能も導入され、新たなレベルの精度とコントロールを実現します。

- **Precision Flow**：単一のプロンプトから幅広いバリエーションの画像をいくつも生成することで、クリエイターが成果物の探索と調整をより迅速に行えるように支援します。スライダーを使用すれば、直感的な操作で、微妙な調整から劇的な変化まで、さまざまなバリエーションを確認し、最初からやり直すことなく、自身のビジョンに最も合ったバージョンを選択できます。
- **AI マークアップ**：変更を加えたい場所や方法をクリエイターが直接指定できます。ブラシ、長方形ツール、または参照画像を使って画像に直接書き込み、オブジェクトを配置したり、新しい要素をスケッチしたり、照明を調整したりすることができます。

また、Kling 3.0 および Kling 3.0 Omni といったビデオ AI モデルの追加でも明らかのように、Adobe Firefly は業界トップクラスの AI モデルへのアクセスを拡大し続けています。

- **Kling 3.0**：この汎用ビデオモデルは、スマートなストーリーボード作成と音声・映像の同期機能により、高速かつ高品質な制作に最適化されています。
- **Kling 3.0 Omni**：このモデルは高度な制御機能と一貫性を備えており、クリエイターはマルチショットシーケンス全体にわたって、ショットの長さ、カメラアングル、キャラクターの動きを定義できるようになります。

これらは、Google の Nano Banana 2 や Veo 3.1、Runway Gen-4.5、Luma AI の Ray3.14、Black Forest Labs の FLUX.2 [pro]、ElevenLabs の Multilingual v2、Topaz Lab の Topaz Astra、そしてア

ドビの商用利用可能な Adobe Firefly モデルなど、Adobe Firefly ですでに利用可能な 30 以上のクリエイティブ AI モデルに加わります。

Adobe Summit 2026

エージェント型 AI のイノベーションは、高品質でブランドに沿ったコンテンツの大規模な制作・展開を可能にし、潜在顧客の獲得やエンゲージメント強化からコンバージョン向上や長期的なロイヤリティ促進に至るまでの、顧客ライフサイクル全体の再構築に貢献します。アドビが主催する顧客体験カンファレンス [Adobe Summit](#) (英語) では、このイノベーションがクリエイティブチームやマーケティングチームにどのような価値をもたらすかをデモを通じてご紹介します。

価格と提供時期

Adobe Firefly AI アシスタントは、今後数週間以内にパブリックベータ版として提供を開始します。Adobe Firefly 有料プランでは、本日より Adobe Firefly で新しい動画・画像エディター、ならびに新しいパートナーモデルへのアクセスを利用できます。

■「アドビ」について

アドビは「Empowering Everyone to Create」というミッションのもと、すべての人に創造する力を提供してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.